

新規事業採択時評価結果（平成16年度新規事業化箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道4号 <small>かながせ</small> 金ヶ瀬拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自：宮城県刈田郡蔵王町宮 至：宮城県柴田郡大河原町金ヶ瀬	延長	3.7km		

事業概要

一般国道4号は、東京都中央区から青森市に至る延長約860kmの主要幹線道路であり、福島市、仙台市、盛岡市等の東北地方の主要都市を結ぶ重要な路線である。金ヶ瀬拡幅は、仙台都市圏と二次生活圏中心都市である白石市間の唯一2車線のボトルネック区間の交通混雑の緩和を目的とした延長3.7kmの4車線拡幅事業である。

事業の目的、必要性

金ヶ瀬拡幅は、前後が4車線整備されていながら2車線で残されてるボトルネック区間の解消による一般国道4号の交通混雑の緩和や沿道環境の改善を図るとともに、東北縦貫自動車道の通行止め時には、代替路機能の確保など重要な役割を担うものである。

全体事業費	84億円		計画交通量	36,400台/日				
費用対効果分析結果	B/C	2.2	総費用	88億円	総便益	197億円	基準年	平成15年
			（事業費：70億円 維持管理費：18億円）		（走行時間短縮便益：171億円 走行費用減少便益：23億円 交通事故減少便益：3億円）			

事業の効果等

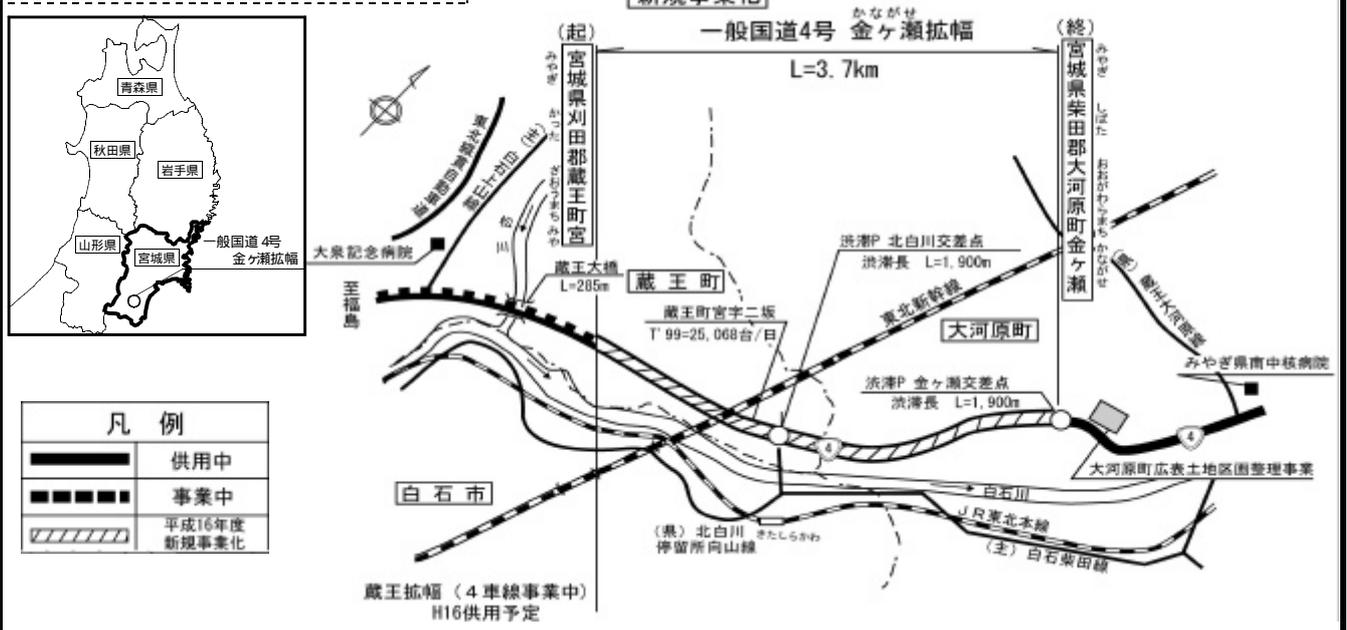
- ・円滑なモビリティの確保（バスの利便性の向上が期待される）
- ・都市の再生（大河原地区広表土地区画整理事業との連携あり）
- ・個性ある地域の形成（船岡城址公園等の観光地へのアクセス向上が期待される）
- ・災害への備え（東北縦貫自動車道が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する）

他8項目に該当（定量的評価項目を含む）

関係する地方公共団体等の意見

金ヶ瀬拡幅は地域交流の促進、交通混雑の緩和、交通安全の確保等、地域社会の形成にとって重要な役割を果たすことが期待されており、大河原町より早期4車線整備の要望(平成15年12月19日)を受けている。

事業概要図



総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。